

試合会場レポート

[試合番号]特設2

[開催日]2010/10/31

[会場]ひたちなか市総合運動公園総合体育館

[観客数]2000

[開始時間]13:00

[終了時間]14:16

[試合時間]1:16

[主審]松延 亮一

[副審]井坂 友典

[記録員]大久保 優輝

女子：決勝戦

土浦日本大学高等学校

監督：石崎 吉宏

コーチ：小松崎 裕子

3	25	第1セット 【 0:26】	18	0
	25	第2セット 【 0:21】	17	
	25	第3セット 【 0:23】	19	
		第4セット 【 : 】		
		第5セット 【 : 】		

東洋大学附属牛久高等学校

監督：鈴木 敦子

コーチ：高橋 美樹

【 】内はセット時間

戦評

4連覇を狙う土浦日本大学高等学校と、第2シードの東洋大学附属牛久高等学校の対戦。

第1セット序盤は五分の展開。土浦日大は相手のミスに乗じて8-5までリードをひろげ、東洋大牛久1回目のタイムアウト。その後両チームとも得点を取り合い、土浦日大わずかなリードのまま中盤を迎えた。ここから土浦日大が4番菅谷の速攻、サービスエース、さらに8番鈴木のスパイク、2番久保庭のサービスエースで一気に加点し、16-11までリードをひろげ東洋大牛久2回目のタイムアウト。東洋大牛久は3番成島のブロードなどで反撃するが、肝心なところでミスが出てしまい追いつくことができない。このセットを25-18で土浦日大が奪取した。

第2セット、序盤東洋大牛久がリードする。成島の速攻、6番石川、4番佐藤のスパイクで7-4までリードをひろげる。土浦日大は鈴木のスパイク、3番渡邊の速攻などで反撃し、8-8の同点とする。一進一退の攻防が続いたが、渡邊のサービスエース、菅谷の速攻で11-9までリードを奪う。ここで東洋大牛久は1回目のタイムアウト。再開後も東洋大牛久のミスや土浦日大のブロックで13-9までリードをひろげる。東洋大牛久も成島の速攻、ピンチサーバー13番稲葉のサービスエースなどで追いつがるが反撃もここまで。土浦日大が強いサーブと多彩な攻撃で着実に加点し、25-17でこのセットも連取した。

第3セット、序盤はまたも五分の展開。中盤から土浦日大は菅谷の速攻が冴え渡りリードを奪う。9-13で東洋大牛久1回目のタイムアウト。東洋大牛久は成島、8番長谷部らの奮闘で追いつがるも、土浦日大は要所で1番星がスパイクを決めリードを保つ。最後は土浦日大、鈴木のスパイクが決まって3セット連取。ストレート勝ちで土浦日大が全国大会出場を決めた。